



～美浦村の将来を思い、自分たちの考えを提案しました～



美浦村議会は、次代を担う中学校の生徒に美浦村の将来を考え、質問することでまちづくりに関心を深めてもらうとともに、中学生の要望や意見を聞いて、今後のまちづくりの参考にしたいと考え、子ども議会を7月23日に村議会場で開催しました。

美浦中の生徒20人が議長1人、議員18人、議会事務局長1人に分かれ、村議会と同様に審議を進め、代表の7人が村長はじめ村執行部に質問や提言などを述べました。

質問を終えた議員からは「緊張したが、聞きたいことを聞いた」「やりきった!」「村議会議員の皆さんが普段行っていることを体験できて貴重な経験になった」などの意見が聞かれました。また、傍聴した生徒からは「美浦村のことを知るきっかけになった」「できる範囲で村に貢献できるよう努力したい」などの意見が寄せられました。それでは、この日の質問や意見の一部を次頁から紹介します。



◀ 右 遠藤 拓真 事務局長
左 柳生 春叶 議長

美浦村のPRに力を入れています



石井 花恵
 議員

質問 昨年、美浦村にマスコットキャラクターが誕生し、美浦村のPRが行いやすくなったと思うのですが、現在どのようなPRを行っていますか。

答弁 (総務部長) 「みほーす」は、平成29年3月26日のみほふれ愛プラザ開館に合わせ、美浦村のマスコットとしてデビューし、数多くの村内や村外の観光イベントに参加している。また、昨年のゆるキャラグランプリでは初参加で全国116位となり、これからのPR活動に期待している。



質問 美浦村公式ホームページやみほふれ愛プラザをもっと活用し、美浦村の魅力を村内外へ発信できると思うのですが、どうお考えでしょうか。

答弁 (総務部長) 村では、公式ホームページ・広報誌・SNS・スマートフォン美浦村アプリなどで役場内の情報のみならず村全体の情報を発信している。加えて、みほふれ愛プラザ内に設置されているデジタルサイネージを活用し、効果的な広報活動を検討する。

速やかな広報活動を行うためには、ネットワークを利用することは重要と認識している。

質問 これから美浦村の魅力がもっとたくさんの人に知ってもらえることを願っています。

美浦村の通学路に力を入れています



木村 みさと
 議員

質問 通学路沿いの雑草が繁茂しているところは、車道側を通行してしまい大変危険です。通学路の除草状況についてお伺いします。

答弁 (教育長) 村道は村で、県道・国道は亀ヶ崎工事事務所で管理している。

村道は、危険と判断される場合や、安全な通行に支障があると判断される場合村職員による除草を行っている。

加えて、毎年7月上旬に各地区長を通じて地区の通学路の除草をしてもらっている。また、7月下旬及び10月上旬にボランティアを募り、除草



活動を行っている。今後も安全な通学路の維持に取り組みとともに、村民の皆様にも引き続きご協力いただきたい。

質問 多数の方が利用している美浦中央公民館の時計は大変重要であると考えますが、現在時間がずれている様です。村の考えをお伺いします。

答弁 (教育長) 時計は正確であることを当然として見られるものであり、教育委員会として時計の時間がずれないように適正管理に努め、公民館を利用される方々の利便性向上を図って参る。

質問 今後も、通学路の安全確保・中央公民館の時計の適正な管理についてご協力をお願いします。



村内の生徒の体力向上について



こざわ ゆうか
小澤 悠花
議員

質問 美浦村では、村内の生徒の体力向上について、どのような対策を行っているか。また、今後やるうとしてしていることをお尋ねします。

答弁 (教育次長) 健康で活力ある生活を送るためにスポーツは極めて重要であり、中学校教育では生徒の体力向上について、体育科の授業・体育祭・スキー学習・運動部活動等、将来への基礎づくりを行い、体力向上や交流の中での協働、スポーツに親しむことにより種目の選択の一助となることを目指している。



質問 2019年の茨城国体、2020年には東京オリンピックがあります。それに向けて頑張っているのに、ニユース等では部活動の廃止や縮小等が報道されていて、小・中学生でスポーツにふれる機会を少なくさせていると思います。それについて、村長の考えをお伺いします。

答弁 (村長) 生徒数の減少や、より高度な技術習得のため地域のクラブチームに入ることに、中学校運動部生徒数が減少し、部活動規模が縮小することが懸念される。将来に向けて課題だと考えているが、他の地域で取り組みが始まっている市町村を跨いでの広域的な部活動を行うことも考えていく、必要があり、自治体も環境を整えて参りたい。

美浦村の国際交流について



はしもと りな
橋本 梨菜
議員

質問 私は、国際交流に興味があります。2020年にオリンピック開催も予定されていて、外国人の人はますます増えてくると思います。そこで外国人を対象とした、ホームステイ事業を美浦村で立ち上げてみてはどうですか。

答弁 (総務部長) ホームステイ事業は、村民の協力が不可欠であり、クリアしなければならぬ課題が多々存在していることから、村の国際交流協会や関係者と協議していきたい。また、既に事業展開している茨城県国際交流協会や、民間企業も活用していた

だきたい。



質問 私は小学生の頃、学校間をスカイプで繋ぎ、意見交換する授業をしたことがあります。敦化中などの外国の生徒や人と、スカイプでの意見交換授業をしてみたいかどうか。

答弁 (総務部長) 本村では最先端のICT機器と通信環境を整備し、小中学生の約3人に1台タブレット端末を導入している。スカイプを活用して海外と国際交流を行える環境は既にあるので、学校の先生と相談し、有効に活用していきたい。国際的な事業は、相手もあることから、どのようなことが可能か先生方や教育委員会、村で調査し進めて参りたい。

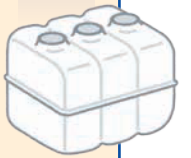
霞ケ浦について



こばやし しょうた
 小林 翔太
 議員

質問 村では、霞ケ浦をきれいにする方法として公共下水道や農業集落排水事業を進めています。なぜ加入率が100%にならないのかをお伺いします。

答弁 (経済建設部長) 既に合併浄化槽を整備し、トイレの水洗化など生活環境の改善を行っている家庭も多くあり、使用開始に係る工事費や使用料等、新たな費用負担が生じることから、農業集落排水事業や公共下水道事業の接続が進まず、加入率が100%になっていないと考えている。



質問 下水道への接続には、個人の費用負担が必要となつていることはわかりましたが、それではいつまでも100%の加入率にならず、霞ケ浦の浄化は進まないと思いますが、見解をお伺いします。

答弁 (経済建設部長) 平成21年度から県の森林湖沼環境税を活用した補助制度等により切替え・改修補助を推進しており、今年度から県の補助制度が拡充されたことから、補助要件はあるが、ある一定の効果があると考えている。きれいな霞ケ浦を目指し、役場と住民が一体となり、霞ケ浦浄化に取り組んでいきたい。

質問 下水道に接続する家庭が増え、霞ケ浦が綺麗になることを期待します。

村の太陽光発電事業について



いのうち こうせい
 殿内 康正
 議員

質問 美浦村に設置されている太陽光発電の数についてお伺いします。

答弁 (経済建設部長) 平成28年10月に、茨城県太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドラインが策定されており、策定以前の太陽光発電施設には許可申請等が不要だったことから、正確な設置数は把握していない。確認できる限りで、一般の事業者が運営する大規模な太陽光発電施設は7箇所、また平成27年3月より、美浦村大山地区においてメガソーラー



発電事業を村営で行っている。
質問 村の太陽光発電事業で得た利益は、どのように村民に還元されているのかお伺いします。

答弁 (経済建設部長) 発電で得た収益は、環境への負荷の少ない住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器の設置及び低公害車の購入に対し補助金を交付することで、低炭素で循環型の社会の実現を目指している。

そのほか、地域交流館みほふれ愛プラザの維持費など、地域活性化に繋がる事業にも収益の一部を使っている。

質問 私も、できるところからCO2削減、地球温暖化防止に協力していきたいと思います。

霞ヶ浦分院跡地の活用について



しみず り梨
清水 議員

年行つ現地を調査時のアンケート結果を踏まえ、今後の方向性を定めていく。

質問 美浦村の人口ですが、

質問 東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地ですが、今特に何もしていないように見えます。今後の計画はありますか。

平成12年をピークに人口が減ってきており、特に年少人口は大きく減っています。私としては村のお祭りをもっと大々的に宣伝したり、新たに何かを試してみたりすれば、今減りつつある若者も増えると思います。今後魅力のある活気のある村にするために何か考えていることはありますか。

答弁 (総務部長) 霞ヶ浦分院跡地は、平成28年10月に財務省関東財務局から払い下げを受け、設置管理に関する条例を定め、霞ヶ浦分院跡地活用基本構想を策定し、住民ニーズ調査を行い、霞ヶ浦分院跡地交流資源発信業務として、有識者と住民の現地案内を実施する予定です。

答弁 (村長) 人口減少に対応し、本年から村民体育祭を産業文化祭と同日開催とした。

基本構想やニーズ調査の結果は様々な考え方があり、今

今後も美浦村村民憲章の5つを以って村民とともに村づくりを行いたい。

